

<JAC アワードをいただいて>

AOI Pro. 宮本 卓

■JAC AWARD の受賞年度

2021年にPM部門でグランプリを頂きました。

入社6年目で翌年2022年からプロデューサー職になる事が決まっていたので、PMラストイヤーで受賞をする事が出来ました。

■応募の動機

僕がずっと所属していた部署の近しい先輩達がグランプリやファイナリストになっているのを見ていて、

単純に羨ましいなと思っていたし、自分の中でもPM職をやっている限り当たり前に目指すべきものとなっていました。

そして2021年度は、クオリティに貢献したと自分で自信をもって言える案件が自分の中であって、出さない理由が逆にないなという感じでした。

その作品が「カロリーメイト 見えないもの篇」だったのですが、ACC,TCCと2冠を獲っていたので、

この作品の後押しがあってJACグランプリ獲れなきゃサムいという空気感もあり、かなり真面目に応募しました。

■JAC AWARD を受賞して...

誇らしかったです。このようにわかりやすくPMがフューチャーされて褒めてもらえる事ってほぼ無いので。

社内では、やってやったぞー！と一瞬だけデカイ顔ができました。笑

また驚いたのは、社外スタッフからのお祝いのメッセージを多数頂けた事。予想以上にみんな知ってくれていて。

日頃からお世話になっていて、ここまで育ててくれたみなさんからのコメントは素直に嬉しかったです。

■PM の皆さんに伝えたい事

ただ JAC の応募って、すごい自分と向き合えるんです。どんな意識で何にこだわっていてとか、漠然とした感覚を掴めるというか。自分の良さや自分らしさを認識できて、その後の仕事が調子良かったなと覚えています。自分と向き合う時間なんて作れたもんじゃないので、すごくいい成長チャンスになると思います。

あとグランプリ受賞は、思ってる倍気持ちよかったです。みなさん、是非目指してみてください。